

令和元年度

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】

令和2年3月

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

1 本校の概況

1. 設置者 学校法人 爽青会 理事長 中野勘次郎
2. 学校名 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー
3. 校長名 中野勘次郎
4. 認可 平成 21 年 3 月 25 日
5. 開校 平成 21 年 4 月 1 日
6. 所在地 〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町 134-38 (TEL) 053-455-2550
7. 課程 文化・教養専門課程

8. 学校の沿革

- 平成 7 年 3 月 専修学校制度に基づき、専修学校の認可を受ける
- 平成 7 年 4 月 専門学校ルネサンス・アカデミー オブ デザイン開設
- 平成 17 年 4 月 専門学校ルネサンス アカデミーに校名変更
総合デザイン学部・動物関係学部を開設
- 平成 20 年 3 月 学校法人爽青会 認可
- 平成 21 年 4 月 専門学校ルネサンス・ペット・カデミー独立開校
- 平成 26 年 3 月 設置 4 学科で職業実践専門課程認定
- 平成 27 年 4 月 動物看護・理学療法科 3 年制課程開始
- 平成 28 年 2 月 ISO29990 取得
- 平成 28 年 4 月 ペットエステ・トリミング科 3 年制課程開始

9. 校訓

Every dog has his day. (みんな輝く学校になる)

10. 教育目標

日本人ならではの徳性を活かし、人への配慮を最優先し、日本流・環境保全を世界に問う
重点項目

- ・さて、今のままでいいのかな！？の追求
- ・働き方改革への対応
- ・ブランディング再構築
- ・事務局の再編
- ・高校との信頼関係構築
- ・働き方改革の進行（仕組みと意識）
- ・競合校との差別化
- ・進化する業界への対応
- ・新教育商品の準備
- ・新教職員育成（新人・リーダー）
- ・ペット系進学希望者の裾野拡大

11. 設置学科

- 動物看護師科 3 年制 (昼 3 年 男女 定員 15 名)
- 動物看護師科 2 年制 (昼 2 年 男女 定員 25 名)

ペットエステ・トリミング科3年制（昼3年 男女 定員15名）

ペットエステ・トリミング科2年制（昼2年 男女 定員25名）

ドッグ・ウェルネス科（昼2年 男女 定員40名）

動物海洋飼育・アクアリウム科（昼2年 男女 定員40名）

マスター科（昼1年 男女 定員5名）

12. 学生数（令和2年2月1日現在） 233名

13. 教職員数（令和2年2月1日現在） 21名

14. 学校建物面積 2357 m²

2 自己点検・自己評価委員会

1) 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎（委員長）
2. 本部長 中野祐子
3. 教頭 藤原研一
4. 教務部 村瀬晋司
5. 教務部 早房陽
6. 教務部 堀内貴充
7. 教務部 北風孝広
8. 事務局 鈴木博昭

監査委員

1. 顧問 田中克己
2. 理事長代理 中野良太
3. 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー課長 前田健一

2) 自己点検・自己評価制作の流れおよび委員会開催記録

- 令和2年1月7日 自己点検・評価委員会 第1回会議
令和2年1月14日 自己点検・評価委員会 第2回会議
令和2年1月21日 自己点検・評価委員会 内部監査
令和2年1月28日 設置者への報告
令和2年2月13日 学校関係者評価委員会
令和2年3月7日 学校法人爽青会理事会報告
令和2年3月9日 第1回講師会にて共有
平成2年3月31日 ホームページにて外部への公開

3 学校関係者評価委員会

1) 委員名簿

1. 鳥居 春仁 常葉大学浜松基礎教育センター長
2. 上野 弘道 公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長
3. 安武 伸朗 常葉大学造形学部長／キャリアセンター長
4. 平井 伸幸 株式会社レボル代表取締役社長
5. 坂元 祥彦 一般財団法人 動物看護師統一認定機構 理事

2) 開催日・場所

- 令和2年2月13日 学校法人爽青会 本部館 203 教室にて開催

4 評価一覧

評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検 自己評価	学校関係者 評価	
1 ・ 目 標 教 育 理 念	1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4
	2	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	4
	3	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	3.8
	5	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	4
2 学 校 運 営	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	4
	2	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	4
	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3	3.6
	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	4
	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	4
	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	4
	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	4
	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4	4
	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	4
3 教 育 活 動	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4
	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
	4	動物系関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4
	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4	4
	8	動物関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	4
	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	4
	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	4
	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	4
	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	4
	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	4
	17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
	18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	3.6
	19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4
	20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	4	4
	21	動物関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	4

評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検 自己評価	学校関係者 評価	
4 学 修 成 果	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	4
	2	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	3.4
	3	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4	4
	4	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	4
	5	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	4
	6	ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	4
	7	学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	4
	8	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4
5 学 生 支 援	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
	3	保護者と適切に連携しているか	4	4
	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	4
	5	卒業生への支援体制はあるか	4	4
	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	4
	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
	10	学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4
6 教 育 環 境	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	3	3
	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	4
	4	防災に対する体制は整備されているか	4	4
	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
7 学 生 の 受 入 れ 募 集	1	学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	4	4
	2	履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	4
	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	4
	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	4
	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	4
	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	4
	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	4
	9	学納金は妥当なものとなっているか	4	4
	10	志願者状況、定員充足率はどうか	3	3.2
8 質 保 証 教 育 の 内 容 部	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	3	文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	3	3.2
	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4	4
	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	4
	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	4
	7	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	3.4
	8	自己点検・評価結果を公開しているか	4	4

評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》			自己点検 自己評価	学校関係者 評価
9 財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
10 地域 貢献 ・ 社会 貢献	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	4
11 交 流 国 際	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	—	—
	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	—	—
	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	—	—
	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	4

5 評価の理由とコメント

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
1 教育 理念 ・ 目標	1	理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	理念・目的・育人人材像は原点確認資料に明示されている。教員には1月の原点確認研修にて、学生には学生必携を用いて4月のオリエンテーションにて周知されている。	4	強み、課題をしっかりとらえて学校経営ができていく点が良い(鳥居) 解説授業があることで、呈示と認識への取り組みがわかった(安武) 理解させるために特別に講義をされているという点が素晴らしい(上野)
	2	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	インターン実習にわせて行われる企業訪問や年2回の教育課程編成委員会等により業界の動向やニーズを調査して次年度教育計画を定め、学校関係者評価にてニーズ調査の点検を得ている。	4	
	3	各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	教育課程編成委員会で得られた「業界で求められる知識・技術レベル」を踏まえ、各学科の教育目標や育人人材像が「mission vision 5つの約束」としてまとめられている。	4	
	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	「教育の質の高さ」を裏付ける講師陣や設備、カリキュラム、外部研修などを学校案内や公式サイトで明確化し、紹介している。	3.8	HPも見やすく分かりやすくできている(鳥居) SEO対策、トリプルメディアの活用、動画等、うまく統合されるときさらに良い(上野)
	5	理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	学生には学生必携により、保護者には入学説明会や就職保護者会資料により、その他外部には公式WERサイトにより、周知がなされている	4	学生必携もよくできている。オープンスクールもよく計画されている(鳥居) 保護者の理解を充分考えられていることが今どきの適切な方法と思う(上野)

① 課題

職業教育の特色を適切に表現できるフレーズを研究し続ける必要がある。

② 今後の改善方策

2019年度のブランディング研究の成果を踏まえ、外部の協力を得つつ、学校や学科の特徴を端的に表現できるキャッチコピーを定める。

③ 特記事項

2019年度から継続実施中。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
1	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	職業実践専門課程認定校のフォローアップ確認への適切な対応や、社会・業界の要請をキャッチして行うカリキュラムの見直しなど、認定要件に沿った運営をしている。	4	
	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	寄付行為・就業規則に意思決定システムは明文化している。また理事会での承認や教務部会での討議、業務分掌による担当の一覧化など、有効に機能する仕組みがある。	4	
	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	教務に関しては2-3と同様。財務においては、経理規定で明文化されており、法人本部を中心に適切に整備運用されている。	4	

2 学校運営	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	各校各科で検討された課題等を整理し、理事会・評議員会討議資料としてまとめ、理事会の承認の元、事業計画（運営計画）を遂行している。	4	
	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	3	12月に初案、3月に最終版として教育運営計画書を策定し、講師会で非常勤講師との共有、学生必携にて学生及び保護者への周知をし、教育活動が適切に進行する仕組みを持つ。策定した計画に基づき運営したが、結果的に退学者が多く、計画内容を見直す必要がある。	3.6	よく分析されている点が良い。動きが早く頼もしく感じる（鳥居） 学生本人の事情による数%の退学率を折り込み済かと考える（安武） 改正案が素晴らしい（上野） 策定段階では結果は予見できないため4とした（坂元）
	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	働き方改革に対応した就業規則の改定および人事制度の見直し、業務フローの効率化や就業風土の改善が進み、人事制度は一層整備されたといえる。	4	
	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	3月8月の講師会を定例会とし、教職員と非常勤講師の情報交換の場を持っている。授業の前後でコミュニケーションも密にし、授業進捗や学生状況の共有に努めている。	4	職員のチームワークの良さを感じます（鳥居）
	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	忌見や安請については、教頭の指示のもと、内容により教務部会や学科間で適宜対応している。例えば美容モデル犬送迎時の混雑について、地域の皆様に迷惑をかけることの無いよう、対応方法を見直し対応を強化した。	4	
	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	職業実践専門課程および修学支援新制度の情報公開要件に基づき、学校情報を公式WEBサイトにて公開している。	4	
	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	グループウェアの活用やサーバでの状況共有、学生アンケートのWEBサービスの活用など、情報システム化を進めている。	4	
	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	資料にて集約される評価結果をもとに、月1回の経営会議において学校運営仕組みや手法の適切性を協議し、必要な改善を月単位で実施している。	4	
	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか	4	学生とは恒常的に、保護者とは保護者会後や進級前の3月に面談を行い、要請等を収集し解決にむけて取り組む仕組みを持つ。	4	
	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	学生必携に学生相談の項目があり、担任や相談室を紹介している。またハラスメントに対応した連絡先を用意している。	4	

① 課題

計画に基づき運用していたが、これまでにない退学理由が複数生じたことにより、結果として退学者が例年になく多い年度となった。

② 今後の改善方策

退学理由分析に基づき、1年前期特別セミナー（専門就職意識の維持を目的）や担任計画の見直し、学生生活充実による居場所の創出等の退学抑止策を実行する。

③ 特記事項

次年度の退学率減少および退学理由により、成果を評価する。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
3 教育活動	1	職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	4	学生必携に各科目ごと記載し、学生・教職員に周知している。また、授業アンケート等をもとにシラバスは毎年反省と見直しを行っている。	4	
	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	教育課程編成委員会を各学科単位で毎年度編成し、職業教育の視点から教育方法の工夫・開発を行っている。	4	
	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	教育理念に沿った教育課程の編成及び実施方針等が策定され、公表されている。	4	
	4	動物系関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	インターンシップ訪問時の聞き取りや教育課程編成委員会を通して情報を集約し、毎年カリキュラムの見直し、作成が行われている。また、教材等は学科毎で毎年見直しをしている。 シラバスを共有し講師同士の連携を含めた資格取得の指導体制があり、カリキュラム内での体系的な位置づけがなされている。	4	
	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	資格取得の指導体制があり、カリキュラム内での体系的な位置づけがなされている。	4	
	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	学科等カリキュラムは体系的に編成され、その内容に即したシラバスを作成し、適切に運営されている。	4	
	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4	シラバスにCan-Doを意識した到達目標が記載されており、学生に配布、又は各教室に常時閲覧できるよう周知されている。	4	
	8	動物関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	年間スケジュールの中で、事前に計画された実習や講義が行われている。企業で行うインターンシップは、第三者による評価が行われ、項目に沿って学生の教育と評価が進められている。評価項目は、インターンシップ前に企業担当者が確認し、実習期間を通して評価が行われる。	4	
	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	講義要項の記載がある学生必携は入学式にて配布され、シラバスは各クラスに配架し、授業初回に授業担当者より必要に応じて配布されている。 授業貸し出し用として貸与されている設備には管理表が作成され、それらを基に授業が行われている。定期的な授業に関してはエクセルデータで事前にあるがイベントなどはデスクネット管理している	4	
	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	4	各期ごとに学生による授業アンケートを実施し、授業内容、指導方法、使用教材、成果達成度などを評価・検証し、講師会にて共有している。	4	
	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	学期にて規定された基準は学生必携にて明記され、学生に配布し周知されている。成績書の見方に関しても、改めて保護者会にて説明を行っている。 外部委員からの意見交換の場合は年間計画に落とし込まれており、それぞれが議事録として残してある。また、頂いた意見で即改善できるものは改善し、次年度の運営に関しても反映されている。保護者に対しては保護者会や三者面談にて意見を確認している。	4	
	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4		4	
	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4		4	

14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	授業アンケートによる評価に加え、管理者による授業監査と教職員が互いに授業を見学する等、意見交換を実施している。	4	自ら考え動く組織になっていかれると思う。より現場の意見を反映させていけるような仕組み（参画）につなげられると良い（上野）
15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	個人情報を含むサーバーへのアクセスには権限を設けている。また、個人情報の取り扱いは就業規則・講師会資料にて周知している。	4	
16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか	4	授業点検企画書をもとに授業監査を行い、学習環境について確認・検証している。	4	
17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	教育計画により定められたカリキュラムを遂行する人材を配置できている。授業の内容も職員同士、または学生からの評価も参考にしている。	4	
18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	職務記述書を定期的に更新している。年に2回、成果・行動評価として教職員評価を実施しているが、職務記述書との関連付けは強くない。	3.6	「コンピテンシー」をどうとらえているのか分かりにくい（鳥居）記録（実施）されていることが重要かと考える（安武）改善計画に期待（上野）
19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	視野拡大の為、学内で他講師の授業視察や参加をする事がある。指導力育成のため「授業評価」をして、常勤講師の相互視察もある。	4	
20	職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	4	学外の研修会や学会に参加し、報告書として残している。また、報告書は回覧され、当日参加していない職員にも共有される。	4	
21	動物関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	各学科業界のスペシャリストを配置でき、企業訪問やイベント参加などで新たな提携先発掘などを行っている。	4	

① 課題

学生アンケートで記入された意見について、講師会等で共有は行われているが、妥当性や改善の必要性の検証、改善策の検討が十分に行われていない。

② 今後の改善方策

学生アンケートを検証する時間を設け、個々の学生への配慮を深めた対応策を立案し、意見とあわせて検証結果を共有する。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
4 学 修 成 果	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	学生必携にて卒業条件、進級条件を定め、学生に周知するとともに、進級卒業判定会議にて条件に従って進級卒業を認定している。測定する知識等や判定基準、試験方法は学生必携の評価規定で明示されている	4	
	2	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	卒業後の就職支援は卒業生及び企業の要請に応じ対応しているが、仕組みとしては整っていない。公式HPに専用窓口（アドレス）を設け、卒業生が相談できる仕組みを整備する。	3.4	改善がみられることが良い（鳥居） 課題認識が適切で、今後期待したい。オンラインの活用、オフラインの活用のバランスが素晴らしい（上野）
	3	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4	学生必携評価規定にて、試験方法や時期、受験資格、評価方法、A評価等を取得するための目標指標、追試験等の試験後の流れを設計している。	4	
	4	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	教職員の評価方法及び手段については、就業規則および人事制度マニュアルにて手段等を明示している。またカリキュラムは学生の試験結果や学生アンケートなどをもとに、教育課程編成委員会およびカリキュラム編成会議で評価している。	4	
	5	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	成績証明書には、在学中の科目と評価、取得資格、各種活動などが記載され、社会的通用性を持った形式で作成している。	4	
	6	ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	専門分野への就職という学生のニーズ、知識技術を持った人材の輩出という業界のニーズを中心としたカリキュラムとシラバスを策定している。評価報告は翌年度の教育運営計画書の前半にまとめられている	4	
	7	学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	インターンシップにおいては依頼書にて目的や要望、実施要件を明示し、実習先が記載する評価表にて習得させたいことを事前かつ具体的に提示している。	4	
	8	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	7月と2月の年2回、企業訪問を全教職員で実施し、企業の要望を聴取するとともに、就業する卒業生から卒業後の様子を聞き、学校の教育活動の卒業効果を把握し、教育の改善に活用している。	4	学校としてのフォローがよくできている（鳥居）

① 課題

卒業生の再就職ニーズおよび企業側の経験者採用ニーズに対して、積極的な取り組みがなされていない。

② 今後の改善方策

公式HP内の卒業生向けページに「再就職希望者」の項目およびメールアドレスを新設する。

同時に企業に向けて、本校が再就職希望卒業生の情報を収集している旨を発信し、両者のマッチングを図る。

③ 特記事項

担当窓口は事務局就職課を予定する。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
5 学 生 支 援	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	学生必携やキャンパスライフナビゲーションにて体制を周知し、就職課と担任とが連携して就職支援を行っている。	4	一般常識試験の位置づけは、専門学校であるが故に、ややデリケートは位置づけかと思った。教育目標・人物像などとの結びつけを明快にしてあると良いかと感じた（安武）
	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	担任・キャリアカウンセラー資格所有者が在籍しているほか、外部カウンセラーによる相談窓口も設置している。	4	
	3	保護者と適切に連携しているか	4	オープンキャンパス保護者説明会、入学式後の入学説明会、授業参観就職保護者会、三者面談等、保護者との情報共有の機会を設定し、連携を強化している。	4	
	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	希望者には夜間入学説明会を実施している。また、学校生活において年齢差に不安のある入学生には、必要なアドバイスを講じながら授業を運営し、卒業・就職の実績を残している。	4	
	5	卒業生への支援体制はあるか	4	卒業セミナーを開催し、卒業後の教育支援を行っている。	4	
	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	図書室・カウンセリング、パソコン利用等については、学生必携とキャンパスライフナビゲーションに記載の上、周知している。	4	
	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	修学支援新制度の認定を受けている。また、オープンキャンパスや奨学金説明会にて、奨学金、教育ローン、独自の優秀生優遇制度を周知している。	4	
	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	毎年4月に学生健康診断を実施し、必要に応じた指導を行っている。アレルギー等についてはオリエンテーション等で個別に確認し、必要に応じて対応をしている。	4	
	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	ボランティアや企業コラボレーションは随時学生に紹介し、必要に応じた指導を行っている。また、参加したボランティア等はリスト化し、月末会議にて共有している。	4	学生をボランティア活動に積極的に参加させてほしい（鳥居） 現状、獣医師会主催の健康診断、愛護週刊啓発、募金活動。他に自主的な活動にも広がっていくと楽しみ（上野）
	10	学生の生活環境への支援は行われているか	4	募集要項や学生必携に記載の上、希望者には物件案内を配布するなど支援を行っている。	4	
	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校で行われる職業別説明会への参加のほか、複数高校にて提携授業を実施してキャリア教育連携を図っている。	4	

① 課題

企業データベースを閲覧出来るのは就職課担当者の方に限られており、学生からの相談に担任が対応する際にリアルタイムで情報提供が出来ていない。

② 今後の改善方策

各担任がデータベースにアクセス出来る管理方法を検討し、必要な情報が行きわたるようにする。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
6 教育環境	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できよう整備されているか	4	専修学校設置基準に基づき、教育施設は学生の履修を十分に満たしている。また高度な授業が継続的に提供できるよう、設備の新規導入及び修繕は適切に実施されている。	4	
	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	3	エレベーター、消防設備などは外部業者による定期的な点検を実施し、記録を残している。机や椅子、モニターなどの設備については点検が十分になされていない。	3	安全管理の観点からは重要かと感じた(安武) 早期改善を期待する(上野)
	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	8月の避難訓練、11月のシェイクアウト訓練を行うとともに、防災関連備品の拡充に努めている。	4	
	4	防災に対する体制は整備されているか	4	ペット館および本部館のいずれにも地震防災応急計画等を策定し、防災に努めている。	4	
	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	インターンシップ、海外授業いずれも学生への事前授業や提携先との教育目的の共有に努め、研修後は日誌や報告書を中心とした振り返りを十分にを行い、教育効果が高まる仕組みを構築している。	4	海外授業が素晴らしい(鳥居)

① 課題

机・椅子・モニターなど、外部業者による点検の仕組みがない学校設備について、必要に応じての点検のみであり、定期的な点検の仕組みがない。

② 今後の改善方策

設備台帳をもとに年2回(8月および2月)の定期的点検計画を定め、運用する。

③ 特記事項

2019年度末(2020年2月)に試験的に実施し、2020年度より定期的に運用する。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
7 学生の受入	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	4	学校案内パンフレット、募集要項、就職内定速報、WEBサイトを作成し、入学希望者に配布し情報提供している。	4	
	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	2019年度よりインターネット出願システムを導入。入力項目に学歴・所有資格等を設定している。入力された情報は入学願書として出力し、面接書類とともにファイリングして管理している。	4	
	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	募集要項、公式WEBサイトにて選抜方法、求める人材像、入学資格等を明示している。	4	
	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	募集要項、公式WEBサイトにて選抜方法、求める人材像、入学資格等を明示している。	4	
	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	教育成果はオープンキャンパスの保護者会資料に記載の上保護者に説明している。また、就職内定速報を毎年作成し、成果を公表している。	4	

れ募集	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	公式WEBサイトにて、評価手段や基準について明示している。	4	
	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	入学選考にて障がいがありそうな受験者を確認し、判定会議にて共有・検証している。必要に応じて担任と情報を共有し、必要な対策を取っている。	4	本人以外の情報入手は注意が必要（坂元）
	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	学生必携にて学生に、オープンキャンパス保護者説明会、入学式後の入学説明会等にて保護者に案内している。	4	
	9	学納金は妥当なものとなっているか	4	予算・収支計画と実績を比較検討し、適切な設定を行っている。	4	
	10	志願者状況、定員充足率はどうか	3	学生募集は、想定に近い入学者を獲得出来た。一方で、特定の学科の在籍人数が少ないため、次年度総定員から見た定員充足率は減少見込み	3.2	難しい課題ですが、何か手を打って下さい（鳥居） 理事長の教育への思いが、社会に信頼をつくり、よい循環を作られると思う。（上野）

① 課題

中・長期的な観点での入学者数の確保。

② 今後の改善方策

募集強化エリアの再検討と、低学年・低年齢層との早期接触機会の強化。

③ 特記事項

2021年度生募集に向けて、2019年9月より始動し、取り組みを始めている。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
教育の内部質保証システム	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	就業規則内にある機密保護管理規定に則り、個人情報保護・管理に取り組んでいる。	4	
	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	関連法規あらびに専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされている。	4	
	3	文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	3	学内で保管すべき文書及びデータについて、文書管理台帳を作成し、文書管理規定に則って試験的な運用を開始した。	3.2	大変誠実な取り組みであると感じた（安武） 適切に対応されている（上野）
	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4	自己点検評価・内部監査を適切に実施し、問題点を明確にしている。	4	
	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	内部質保証人材養成講座修了者による内部監査を実施し、報告書を作成の上で設置者に報告している。	4	
	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	内部監査報告書を作成し、改善点を明確にしている。	4	
	7	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	内部監査報告書、学校関係者評価委員会議事録をもとに改善チームを設置して改善に取り組み、改善に努めている。	3.4	適切に対応されている（上野）
	8	自己点検・評価結果を公開しているか	4	自己点検および学校関係者評価の目的と結論、根拠をまとめた報告書を公式WEBサイトにて公開している。	4	

① 課題

内部監査による指摘事項については、適切な時期・方法にて改善処置を行っているが、報告書として残していない。

② 今後の改善方策

いつどのような方法で対応したかがわかるような報告書を作成し、記録として残す。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
9 財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	第三者による会計監査が適正に行われている。	4	
	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	財務諸表は公式WEBサイト上で公開、更新している。	4	
	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	資金面、収入支出面、銀行との信頼関係は安定している。しかし中長期的には18歳人口の減少や競合校の影響から、学生募集は一層の緊張感をもって進める必要がある。	4	
	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	予算・収支計画は、有識者の助言のもと適切に作成され、健全経営を継続している。	4	

① 課題

2019年度は問題がなかったが、学生数が減少する2020年度は単年度の収支については見直すべき項目がある。

② 今後の改善方策

学生及び教職員の設備維持管理の徹底、事務系消耗品における冗費削減、新設備の段階的導入など、経費管理に留意する。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
10 社会貢献・地域貢献	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	卒業生、業界関係者を対象としたセミナー、企業コラボレーション、浜松市動物愛護教育センターにてボランティア実習を実施している。	4	
	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	先方からの依頼に対して都度参加を検討し、学生たちに斡旋している。	4	
	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	近隣中学校の職場体験の受入れや、高校との提携授業、小中学生対象の職業体験イベントを通して、社会や地域に貢献する活動を実施している。	4	

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

小中学校との連携や小中学生への啓蒙活動は引き続き強化する。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》			自己点検・自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価の理由	評価	コメント
1 1 国 際 交 流	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	—		—	
	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	—		—	
	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	—		—	
	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	海外授業にて海外の大学での研修を行い修了証の授与を受けている。	4	

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

特になし。

以上